

あの頃の津山

今津屋橋の流出

(昭和9年9月)

写真提供・江見写真館



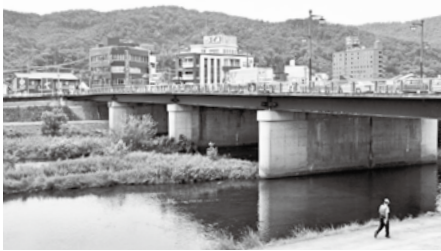
写真は、昭和9年9月に高知県の室戸岬付近に上陸し、京阪神地域を通過した室戸台風の影響で流出してしまった今津屋橋を写したものです。

この台風は、日本全国で死者・行方不明者合わせて3千人を超える甚大な被害をもたらすものでした。

岡山県が昭和10年に発行した『昭和9年風水害史』によると、津山市では同月20日の午後4時ごろから雨足が強まり夜にかけて激しさを増し、21日の未明には猛烈な暴風雨となったようです。その影響で、兼田橋付近で吉井川が氾濫し、21日午前10時ごろ、今津屋橋が流出してしまつたようです。また、岡山市へ向かう街道の一部だった境橋も、くの字に折れ曲がり、ほぼ全損の状態であつたと記録されています。

市内では、この猛烈な暴風雨により、二宮の松並木が倒木したり、院庄の堤防が決壊して田畑に水が流れ込んだりするなど、各所で被害が発生しました。

写真を見ると、今津屋橋は橋の途中から水勢によって折れて流されています。また、向こう岸では建物が浸水していることも見て取れます。写真手前には、橋の様子を見守る大勢の人が写っています。



現在の今津屋橋

日本各地に大きな被害をもたらした室戸台風によって、津山市が受けた被害の状況を伝える貴重な一枚です。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

岡津山郷土博物館

☎22・4567



今月号の表紙は、ステージ裏からの1ショット。炎天下の中、ごんごまつりのステイジイベントで、一生懸命ダンスを披露する子どもたちを見つめるお客さんの真剣なまなざしがとても魅力的だったので、この一枚を選びました。カラー写真でお伝えできないことが、わたしはいつも残念です。(W)

2歳の娘が、袋に何か詰めながら「これ、オッサンにあげようかな」とつぶやいていました。しばらくして、娘がわたしのところへ来て「オッサン、これあげる」と言って先ほどの袋をわたしにくれました。オッサンってわたしのことか。子どもの成長は、時に悲しいこともあるんですね。(雨)

ついこの間まで暑かったのに、最近、朝晩涼しくなってきましたね。稲の実が、だんだん黄色くなっていくのを見ると、秋になってきたなあと感じます。秋と言えば、運動会。広報で学んだ撮影技術で我が子の様子を撮影してみたいと思います。「お父さん去年よりすこいなあ」と言ってくれるかな。(笑)

今月の表紙

津山納涼ごんごまつり
創作ダンス

8月1日

吉井川河岸緑地公園

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

http://www.city.tsuyama.lg.jp/



☆秘書広報室のフェイスブックはこちらから
http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください